



くぬぎ通信



2014年12月発行 第294号
市原第7団BS隊 隊長 小西章夫

2014年12月度テーマ ; こんな良いところはない

こんな良いところはない

♪森の深く 谷あい すばらしいキャンプ
こんな良いところはない 谷間の白いキャンプ

「谷間のキャンプ」の一節です。

市原第7団には、野営場があります。我々が自由に使うことができ、環境に恵まれたすばらしい野営場です。(千葉県連盟内115団で固有の野営場があるの団は半数以下です。民家に囲まれ制約が多いところも多くあるそうです。)

この野営場で四季を通じて自然の中でテントを張り、飯を炊き、寝起きをし、営火を囲み、仲間と語り、泣き、笑い、よろこび、諸活動を行うことができます。水がない不便さがありますが、水の大切さを知ることができます。まさにこんな良いところはない、谷間の野営場です。

市原第7団野営場は、1987年4月に、ビーバー隊、シニア(現ベンチャー)隊の発足と同時に開場したそうです。

贈り物を受け取っても、感謝をするまでは、それはあなたの物ではない。あなたがキャンプサイトを清掃し荷物をまとめても、その場所を使わせてもらったことをキャンプ場の持ち主に感謝し、楽しい時間を過ごせたことを神に感謝するまでは、あなたはキャンプを終えていないのである。

B-P「スカウティング フォア ボイズ」より



FROM ACORN TO OAK

左はB-Pの「どんぐりから榎の木へ」というイラストです。ブラウンシー島に植えたどんぐり(実験キャンプ)が、B-Pが幹となった大きな榎の木となって世界中にスカウト運動という枝を広げたことを表しています。

我々の団野営場には、それに似た堂々としたクヌギの木がスカウト広場にたっています。野営場開墾時に自生していた若木を残しシンボルとしたと伺いました。

クヌギの木から恐る恐る綱渡りをして入隊したスカウトたちが、木の前で「ちかい」をたて、活動を重ねて逞しく成長する姿をいつも静かに見守ってくれています。

スカウト諸君へ

12月の活動予定

- テーマ ; いざゆかん
- 活動目標 ; 好奇心と冒険心を満足する活動を行う。
- プログラム ; 筑波山ハイク
- ソング ; わが旗かざし

日時	場所	集会	内容	備考
1/		班集会		別途連絡
1/		班集会		別途連絡
4/25-2/8	筑波山	隊集会	ハイキング	

干し芋づくり

干し芋は、繊維質、ビタミンやカリウムが豊富な保存食です。

「干し芋」の材料のサツマイモは、肥高インストラクターが野営場駐車場横の畑でつくってくれました。荒地を開墾して、落ち葉で腐葉土を作って畑に混ぜ、耕した畑です。この時期に合わせるように干し芋に適した種類のサツマイモ苗を植え、週末ごとに畑の世話をし、じっくりと手間隙かけて育てていただきました。寒さででんぷんが糖に変わる時期を待って、スカウト諸君に干し芋に加工してもらいました。出来上がりが楽しみです。(本来なら複数の班で、干し芋の歴史や作り方を発表しあったり、出来栄を競ったりします。)



11月30日隊集会 ハイキング

気持ちのよい秋晴れの下、珍しく混雑した小湊鉄道にのりこみ、養老渓谷駅-梅が瀬-大福山-上総大久保駅の約14kmをハイキングしました。紅葉を楽しむ多く一般市民ハイカーで途中の山道で「渋滞」しましたが、多くの課題を乗り越え、帰りの列車時刻にも余裕で間に合う快歩でした。手旗信号と俳句作りの課題には苦勞している様子でしたが、班長を中心に班がまとまってきました。